

岩手県野田村の支援・交流活動報告（2015年7月18日）

台風11号が近畿地方に大雨を降らせた翌日ということもあって、天候が心配される中での活動となりました。この日の活動は、4か所に分かれて行われました。①野田中学校の仮設住宅集会所での交流茶話会、②泉沢仮設住宅での畳上げと窓拭き、③児童クラブでの学習支援活動、そして④のんちゃんの隠れ家活動です。今回は、特別ゲストとして弘前大学アカペラサークルV.E.Lの6人の学生が参加してくれ、午前には野田中学校の仮設住宅集会所で、午後は児童クラブでコンサートを開催してくれました。ただ、期末試験前ということもあって学生の参加は少なく、アカペラサークルの学生を除く学生は3人だけでした。8人の市民の皆さんと、学生事務局2人、教員事務局1人の計20人での支援・交流活動でした。



道の駅「おりつめ」での集合写真

野田中学校仮設での交流茶話会

野田中学校の仮設住宅では、午前中に、恒例の交流茶話会と並行してアカペラサークルのコンサートが開催されました。バスが到着すると、すでに9の方が仮設集会所で待っていてくださったようです。

アカペラサークルのコンサートは大好評で、コンサートを聞いた市民の方々も「初めてアカペラを生で聴いたが圧倒された。」「アカペラがとにかく素晴らしかった。とても癒された。」「アカペラを聴いたのは初めてだったが、ハーモニーが素晴らしかった。」と絶賛でした。野田村の皆さんも喜んでくださっていたそうです。

また、仮設集会所には、小学生が2人訪ねてくれたそうです。先月の活動の際にも訪ねてきてくれたようですが、先月は学生が1人もおらず教員が相手をしていました。今回はアカペラサークルの学生が相手になってくれたそうです。

泉沢仮設住宅での畳上げ・窓拭き

泉沢地区の仮設住宅での畳上げ・窓拭きは、市民参加の男性の方々に行っていただきました。今回は、人手不足もあって事務局は同行できませんでしたが、終了後に野田村の社会福祉協議会の方には、ほぼ予定していた内容をやっていただいた、自治会長さんも「これでスッキリとお盆を迎えられる」と仰っていたと言っていました。

こちらの活動に参加した市民の方々は、「重労働かと思ったが、思ったより軽作業だった。いい環境になった。充実した一日だった。」「1軒の汚れがひどくて午前中ずっとかかってしまった。ただ、また使う可能性があるようなので、きれいになってよかった。」という感想を述べていました。

児童クラブでの学習支援

児童クラブでの学習支援では、学生事務局を含む学生 2 人でスタートしましたが、のんちゃんの隠れ家に誰も小中学生が来なかったので、途中からのんちゃんの隠れ家に参加していた学生 2 人も応援に回りました。今日は、子どもたちも比較的少なく午前は 3 人だけでしたが、とてもパワフルで学生はついていくのが精一杯という感じでした。活動終了後のバスの中でも「とにかく子どもたちがパワフルだった。」「子どもたちすごい元気。人が増える度にドンドンパワーがアップしていった。」という感想が聞かれました。

午後は、アカペラサークルのコンサートが開かれました。こちらも大好評だったようです。コンサート終了後は、アカペラサークルのメンバーも一緒になって子どもたちの相手をしてくれました。



児童クラブの子どもたちは、とても元気でした

のんちゃんの隠れ家

のんちゃんの隠れ家は、生涯教育センターで行いました。今回から野田小学校にも案内を送り、小学生も学習支援の対象に入りました。しかし、その甲斐もなく、午前の来訪者はゼロ…。仕方なくのんちゃんの隠れ家担当の学生には、児童クラブの応援に行ってもらいました。

お昼休みの休憩を取っていると、小学生の姉妹が来てくれました。最初は勉強をするつもりだったようですが、そのうち「鬼ごっこがしたい」「ゲームをやりたい」と言い始め、結局ほとんど学習支援にはならなかったようです。学生 2 人が振り回されながらもよく相手をしてくれていました。活動終了後の感想でも「最初は全然来てくれなかったが、ようやく午後に 2 人来てくれた。でも結局一緒に遊んだ状態。子どもたちに遊ばれている感じだった。」と、参加した学生は言っていました。それでも、子どもたちとの触れ合いは楽しかったらしく、「すごく楽しい時間過ごせた。また機会があったら来たい。」という感想も聞かれました。

アカペラサークル V.E.L コンサート

アカペラサークルのコンサートは、午前・午後の 2 回開催されましたが、いずれも好評だったようです（私は残念ながら 2 回とも見られませんでした…。）

参加して下さったサークルの皆さんも、「コンサートが好評で嬉しい限りだった」「反応が良くて楽しく歌うことができた」「喜んでもらえて嬉しかった」と感想をそれぞれ述べていて、「是非機会があればまた声を掛けて欲しい」と言ってくれました。



午前（左）と午後（右）のコンサートの様子

私にとっては約 1 年ぶりの野田村でしたが、子どもたちも相変わらず元気で、いつもお会いする皆さんもお変わりなく、とても安心しました。ただ、泉沢仮設の畳上げ・窓拭きなどが活動に加わるようになってきて、また少し次のステップへの動きが感じられました。

今回も学生事務局の 2 人が頑張ってくれ、無事に活動を終えることができました。学生の間でも震災のことが過去のことになりつつあります。今年度担当した 1 年生の基礎ゼミナールの授業でも、震災のことは遠い昔の話のようになっていて、関心のほとんどない学生が大半でした。そんな状況ですから、学生事務局も人材確保が難しい状況になっています。しかし、まだまだ私たちができることはあると思いますので、引き続き学生に声を掛けながら、学生と一緒に活動に取り組んでいきたいと思っています。

（担当 平野 潔）